

2020年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募

下記の要領にて 2020 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞を公募いたします。

記

賞の名称：IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

応募資格：日本の医療機関に勤務する若手（論文掲載時 40 歳未満）の病理医。IAP 日本支部の会員か否かは問わないが、会員であることが望ましい。

選考対象：2019 年 1 月から 12 月の間に雑誌に公表された診断病理分野における優れた英文論文、1 編。E-pub は含まない。但し、留学先での仕事ではなく日本での仕事のみ。筆頭著者を原則とする。

受賞者数：3 名以内

賞の内容：賞状と副賞（トロフィー）

応募方法

他薦、自薦ともに可とするが、他薦を原則とする。

申請時に必要なもの：

1. 応募者の履歴書（JIS 版）
2. 推薦書（推薦人がある場合）ないし、応募理由書（推薦人がいない場合） A4 用紙 2 枚以内。書式は問わない。
3. 論文の別刷 7 部（1 部はオリジナル、他はコピー可）。PDF の場合はカラーコピー 7 部（PDF ファイルでなく、書類を提出）

応募の締切：2020 年 8 月 31 日（当日の消印有効）

宛 先：〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

愛知医科大学病院病理診断科気付

IAP 日本支部名古屋事務局

「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会 宛

選考方法・発表

IAP 日本支部が指名する「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会（日本病理学会、日本臨床細胞学会からの外部委員も参加）において選考する。なお、受賞者を秋の IAP 日本支部病理学教育セミナーにおいて表彰する。また、受賞者を IAP 日本支部の News Bulletin 紙上で公表する。

以上